

論文賞

ばね用冷間圧延オーステナイト系
ステンレス鋼帯の永久強度評価

法政大学 小泉 隆行殿

あなたの論文は 温度や時間に依存しない
「永久強度」という新たな機械特性の評価指
標をばね用冷間圧延用オーステナイト系ステ
ンレス鋼帯を用いて 室温での応力緩和試験
と応力緩和モデルによるカーブフィッティン
グにより求め 低温焼きなましで永久強度を
高め 残留応力率の増加にも寄与することを
明らかにしました 「永久強度」という概念を
用いて ばね材料の強度を評価した論文は従
来なく 独創性を有し 材料強化機構の考察に
も言及できることから学術的価値が高いです
また 将来的に ばね材料の簡易的な評価手法
に活用できることが期待されるため 工業的
価値も高いと判断されます
よってここにその成果を称え論文賞を贈り
ます

二〇二四年十一月五日

日本ばね学会

会長 納富 充雄

